



平成 23 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ティール・ワイ・オー
代表者名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者
吉田 博昭
(J A S D A Q ・ コード番号 : 4358)
問い合わせ先 常務取締役 経営戦略本部長 上窪 弘晃
電話 番号 03-5434-1586

業績予想の修正、並びに営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、業績予想を修正いたします。また、当社は、平成 23 年 7 月期において、下記の通り営業外費用及び特別損失を計上いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 7 月期 連結業績予想の修正等

(1) 平成 23 年 7 月期通期 (平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り当期純利益
前回予想 (A)	23,000	1,000	630	350	円 銭 5.86
今回修正 (B)	22,600	1,200	880	670	13.78
増減額 (B - A)	△400	200	250	320	—
増減率 (%)	△1.74	20.00	39.68	91.43	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 7 月期)	26,492	926	584	△322	△10.98

(2) 修正理由

平成 23 年 3 月の東日本大震災の発生に伴い、平成 23 年 7 月期第 4 四半期において、次期 (平成 24 年 7 月期第 1 四半期) に広告の制作案件が繰り越されるなどの影響が出ましたが、利益面では、第 3 四半期までの好調により、当初予想を上回るなど好調に推移いたしました。

その結果、売上高につきましては、当初予想より 400 百万円減の 22,600 百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、昨年を実施したグループ統合等に伴う業務の効率化及びコスト削減施策が奏功し、当初予想より 200 百万円増の 1,200 百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、営業利益における増加要因と同様であり、当初予想より 250 百万円増の 880 百万円となる見込みです。

当期純利益につきましては、後述の「3. 営業外費用及び特別損失の計上、並びにその内容」に記載の通り特別損失の計上があるも、経常利益における増加要因、並びにグループ統合及び子会社の業績回復に伴う税効果の影響等により、当初予想より 320 百万円増の 670 百万円と創業以来最高の当期純利益を計上する見込みです。

なお、平成 24 年 7 月期第 1 四半期の足元の状況につきましては、広告需要も回復しており、受注も堅調に推移しております。平成 24 年 7 月期連結・個別業績予想につきましては、「平成 23 年 7 月期決算短信」（平成 23 年 9 月 15 日発表予定）にて公表いたします。

2. 平成 23 年 7 月期 個別業績予想の修正等

(1) 平成 23 年 7 月期通期（平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
前回予想（A）	18,000	700	530	500	円 銭 8.37
今回修正（B）	17,950	1,200	840	400	8.23
増減額（B－A）	△50	500	310	△100	－
増減率（％）	△0.28	71.43	58.49	△20.00	－
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 7 月期）	4,960	463	477	△1,167	△39.73

(2) 修正理由

売上高につきましては、連結売上高における要因と同様に、当初予想より 50 百万円減の 1,7950 百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、連結営業利益における要因と同様に、当初予想より 500 百万円増の 1,200 百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、連結経常利益における要因と同様に、当初予想より 310 百万円増の 840 百万円となる見込みです。

当期純利益につきましては、経常利益における増加要因があるも、後述の「3. 営業外費用及び特別損失の計上、並びにその内容」に記載の通り、特別損失を計上した結果、当初予想より 100 百万円減の 400 百万円となる見込みです。

3. 営業外費用及び特別損失の計上、並びにその内容

(1) 海外事業損失引当金繰入額（連結・個別）

平成 23 年 8 月 31 日付「子会社の解散に関するお知らせ」に記載の通り、当社は平成 23 年 8 月 31 日開催の当社取締役会において、当社連結子会社である Great Works America Inc.を清算することを決議いたしました。また、当社は海外事業の整理・統合を進める中で、当社オランダ支店の閉鎖も決議いたしました。本件に伴い、海外事業損失引当金繰入額（特別損失）として連結で 56 百万円、個別で 64 百万円を計上する見込です。

(2) 持分法による投資損失及び関係会社出資金評価損（連結・個別）

当社が保有する出資金の一部につき、回収可能性等を勘案した結果、連結で持分法による投資損失（営業外費用）として 21 百万円、個別で関係会社出資金評価損（特別損失）として 82 百万円を計上する見込みです。

(3) 減損損失（連結）

これまでの業績や財務の状況を総合的に勘案した結果、子会社 3 社ののれんの減損損失（特別損失）として 103 百万円、平成 23 年 8 月 31 日付けで清算を決議した Great Works America Inc.の固定資産の減損損失（特別損失）として 9 百万円を計上する見込みです。

(4) 固定資産徐却損（連結・個別）

老朽化した固定資産の除却に伴い、固定資産徐却損（特別損失）として 18 百万円を計上する見込です。

(5) 関係会社株式評価損（個別のみ）

当社連結子会社 4 社について、業績動向、収益計画及び純資産等を総合的に勘案した結果、関係会社株式評価損（特別損失）として 279 百万円を計上する見込みです。なお、関係会社株式評価損につきましては、連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

	個別	連結 ※
(A) 平成 23 年 7 月期第 4 四半期会計期間（平成 23 年 5 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日まで）の関係会社株式評価損の総額（＝イ－ロ）	279 百万円	—
(イ) 平成 23 年 7 月期第 4 四半期累計期間（平成 22 年 8 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日まで）の関係会社株式評価損の総額	279 百万円	—
(ロ) 直前四半期（平成 23 年 7 月期第 3 四半期）累計期間（平成 22 年 8 月 1 日から平成 23 年 4 月 30 日まで）の関係会社株式評価損の総額	0	—

純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別	連結 ※
(B) 平成 22 年 7 月期末の純資産額	805 百万円	—
(A/B × 100)	34.66%	—
(イ/B × 100)	34.66%	—
(C) 平成 22 年 7 月期の経常利益額	477 百万円	—
(A/C × 100)	58.49%	—
(イ/C × 100)	58.49%	—
(D) 平成 22 年 7 月期の当期純利益額	△1,167 百万円	—
(A/D × 100)	—	—
(イ/D × 100)	—	—

※ 連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(6) 貸倒引当金繰入額（個別のみ）

これまでの業績や財務の状況を総合的に勘案した結果、当社連結子会社に対する貸付金の一部につき、貸倒引当金繰入額（営業外費用）として 156 百万円を計上する見込みです。なお、貸倒引当金繰入額につきましては、連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(7) 抱合せ株式消滅差損（個別のみ）

当社の連結子会社 2 社を当社に吸収合併したことに伴い、抱合せ株式消滅差損（特別損失）として 24 百万円を計上する見込みであります。なお、抱合せ株式消滅差損につきましては、連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

なお、営業外費用及び特別損失につきましては、上記 1. 及び 2. の平成 23 年 7 月期連結・個別業績予想数値に反映済みであります。

以上